

たきざわ社協だより

福祉 おもいやり



第 150 号

平成24年9月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢村社会福祉協議会

〒020-0172岩手県岩手郡滝沢村鶉飼字中鶉飼47番地1

TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121

Eメール takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~takisha/>

この広報紙は、共同募金配分金の一部を充てて発行しています。

今年も村婦人病検診の会場で託児ボランティアが活躍しました。村内4会場で延べ48名のボランティアが参加。お預かりしたおさんは83名でした。

ママと離れ、泣き続けてしまう子も多いのですが、ボランティアの皆さんは、優しく声をかけ、抱っこしたりおんぶしたりしながらママが戻るのを一緒に待ちます。ママが戻ったときの子ども達の笑顔とママたちの「ありがとうございました。」の笑顔に、ボランティアの方にも笑顔がこぼれます。

主な内容

- 赤い羽根共同募金が始まります…………… ②③
- お知らせ…………… ④
- シリーズ ご近所福祉「ココにあり！」… ⑤
- 寄附・川柳・親子でスマイル…………… ⑥



～皆様のあたたかいご協力を宜しくお願い致します～

赤い羽根共同募金運動

《運動期間 10月1日から12月31日まで》



▲お寄せいただいた募金は、誰もが安心して暮らせる地域づくりに役立てられます。

「赤い羽根共同募金運動」は昭和22年に住民主体の取り組みとして始まり
ました。この運動で寄せられる募金は、私たちの地域で行う「福祉のまちづ
くり」の貴重な財源として活用されています。
今年度も、皆様のあたたかいご理解・ご協力を賜りますよう、宜しくお願
いいたします。

共同募金は計画に基づいて 行う「計画募金」です

共同募金は、事前に社会福
祉団体等からの要望を取り纏
め、使途計画を立ててから行
う計画募金です。

岩手県共同募金会が地域の
様々な福祉団体から申請を受
け付け、その内容の必要性・
緊急性を考慮した上で配分計
画を策定し、目標額を設定し
ます。

設定された目標額を達成す
るため、各市町村に「全県目
標額」が割当てられます。

これは、各市町村の世帯数・
個人県民税などを勘案し算定
され、割当てられます。

更に来年度に滝沢村社会福
祉協議会が実施予定の地域福
祉事業（3ページ参照）の財
源として必要な額が地域目標
額です。これらを合算した額
が今年度の滝沢村全体の目標
額です。

住み良い地域づくりのため ご協力をお願いします

目標額を達成するために街
頭募金をはじめ様々な形でご
協力を呼びかけております
が、各世帯の皆様には500円
を目安にご協力いただくと
、この目標額を達成する見
込みが見えてきます。（この
額はあくまでも目安額です。
決して強制するものではありません。）

今年度も皆様のご理解と温
かいご協力を賜りますよう宜
しくお願い致します。

滝沢村の募金目標額
7,400,000円

《内訳》

全県目標額 5,550,000円
(岩手県の中での滝沢村の目標額)

地域目標額 1,850,000円
(滝沢村の地域福祉活動の財源)



平成25年度に配分金を充てる予定の福祉事業

※ 平成24年度の募金実績額により変更することがあります。

今年度皆様にご協力をお願いする募金より配分を受けて、来年度次の福祉活動を実施する計画です。

《高齢者・障害者福祉のために》

- 訪問ふくし理容サービス事業の実施
- ふれあい送迎サービス事業の実施

《児童福祉のために》

- 福祉協力校の指定による福祉教育推進
- 福祉作文コンクールの実施

《福祉のまちづくりのために》

- ハートフルピクニックの開催
- 滝沢村社会福祉大会の開催
- 地域福祉ゆいづくり事業の実施
- 社協だより福祉おもいやりの発行



▲「福祉作文コンクール」。児童生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域福祉活動に参加する意識を啓発・育成することを目的に実施しております。



▲「ハートフルピクニック」。障がいをお持ちの方とボランティアの皆さんが登山を通してたすけあいの心を育み、地域の中でたすけあいの輪が広がることを目的に開催しております。

平成24年度の滝沢村への配分（平成23年度募金より）

平成23年度の赤い羽根共同募金運動は、滝沢村では6,896,535円、岩手県全体では187,622,977円もの募金が寄せられました。その中から滝沢村社会福祉協議会、及び滝沢村内のボランティア団体に対して配分金が交付されました。

- 滝沢村社会福祉協議会事業費として
→ 3,780,446円

- 福祉のまちづくり支援事業費として
《篠木自治会様》

→ 100,000円
高齢者の健康維持推進事業

- その他「東日本大震災義援金」より
ボランティアバス運行経費として

→ ボランティアバスの運行に係る経費を受配予定



▲震災により甚大な被害を受けた被災地支援を目的に、ボランティアバスを運行しています。

皆様のあたたかい善意に感謝申し上げます

滝沢村社会福祉協議会

住所 滝沢村鵜飼字中鵜飼 47-1
 滝沢村老人福祉センター内
 TEL 684-1110 FAX 684-1121
 Eメール: takizawashakyo@m2.dion.ne.jp

お知らせ・ご案内



生活の様々な場面で「安心」をお届けします！

日常生活自立支援事業

この事業は、高齢や障がいにより判断能力が十分ではなく自分で金銭や大切な書類などを管理することに不安のある方を対象に、地域で安心して暮らしていくことができるよう、社会福祉協議会の生活支援員が定期的に訪問し、お手伝いをする仕組みです。

■利用できる人は？

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方です。
 例えば、認知症高齢者や知的障がい・精神障がいのある方など、判断能力が十分ではない方が利用できます。

■利用手続きの方法は？

社会福祉協議会へご相談ください。この事業の専門員（専門知識をもった担当者）が訪問してお話を伺います。お困りのことを一緒に考えて「支援計画」を作ります。

■費用はどのくらい？

・ご相談や「支援計画」の作成にかかる費用は無料です。
 ・1時間あたり1,300円の利用料がかかります。（生活保護世帯は無料です。）

こんなことでお困りではありませんか？

- 計画的にお金を使いたいけどいつも迷ってしまう。
- 通帳や印鑑をちゃんとしまったか、いつも心配。
- 介護保険や関係の書類がたくさんくるけど手続きの仕方がわからない。



そんな時、社会福祉協議会がお手伝いします

- 日常の金銭管理のお手伝いをします
- 通帳や印鑑、大切な書類をお預かりします。
- 福祉サービスを利用したいとき、契約手続きのお手伝いをします。



滝沢村社会福祉協議会

東日本大震災復興支援への取り組み

山田町ボランティアバス

滝沢村社協災害復興支援ボランティアセンターでは、昨年度に引き続き山田町へ向けボランティアバスを運行し、災害復興支援のボランティア活動を行っています。

8月17日（金）は荒神海水浴場で、8月30日（木）は山田町北浜町で、それぞれ海岸整備の活動を行いました。

山田町も、滝沢村と同様に気温が高い日が続き、強い日差しも加わり、参加した滝沢村民ボランティア述べ34名は全身汗だくになりながら作業を完了しました。



一見、綺麗な砂浜も、砂の中に細かなガレキなどが混ざっているおそれがある為、スコップで70〜80cmほど掘り、砂をふるいにかけてガレキ等を取り除きます。来年は海水浴ができるように願いながら海岸を整備していきます。

震災避難者の交流会

東日本大震災により滝沢村で避難生活を送る方々の交流会を8月28日（火）村老人福祉センターで開催しました。

2回目の開催となる今回の交流会には25名の方々が参加。震災から一年半が経過する中、震災当日のこと、一変した故郷や亡くなった家族への想い、今後の生活への不安など、一人ひとりが今抱えている想いを語りました。

様々な事柄が話題になる中、「滝沢村で皆に良くしてもらっている感謝している。」とのお話も多くの方から聞かれました。滝沢村社協では、今後も交流会を開催する予定です。



シリーズ

近所福祉「ココにありー！」

滝沢村協では「地域福祉 ゆいづくり事業」に取り組んでいます。これは、住民の皆さんが助け合いながら地域の課題を解決していけるよう、その方法や取り組みについて社会福祉協議会がお手伝いをするものです。

現在、取り組んでいる地区は、村内9か所です。(北一本木、滝沢二ニュータウン、鵜飼温泉、篠木、大釜上、元村西、小岩井、元村中央牧野林、大釜南)

それぞれ、活動の中心となるリーダー数名を選出し、住民皆さんを巻き込んだ地域活動を企画し取り組んでいます。

ひとり暮らし等高齢者宅への友愛訪問や草取り・雪かきの支援、毎日の見守りなど、地域で気になる世帯を近所の皆さんでどのように支えていくかを考え、活動しています。

今回は、今年の2月から新たに「地域福祉ゆいづくり事業」に取り組んだ大釜南自治会の様子を紹介します。

初めに取り組んだのは、「支えあいマップ」。数人のリーダーが大きな地図を囲み、気になる人を確認します。集まった人たちが、日頃気になっている家(ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など)に印を付けていきました。



「あれ、いつからこの家はひとり暮らしになっていったらう。」「うちの近所は夫婦ふたりの高齢者世帯が多くなっている。」など、印を付けながら改めて地域の状況を再確認。

マップを作りながら話し合うことで、地域の課題と思われることがリーダー間で共有されます。

このように「支えあいマップ」の作成は、地域にどんな課題があるのか、その解決にはどんな助け合い活動に取り組みよいかといった、自分の暮らし地域を見直す良い機会となります。

あなたのお住いの地域でも「ゆいづくり事業」に取り組んでみませんか？支えあいマップ作成や地域の課題発見、支えあい助け合いの仕組みづくりを社協と一緒に始めてみませんか？

先日訪問した80代のひとり暮らし高齢者宅でのお話。

連日の暑さと歳のせいでの近頃台所に立つのがひどく面倒になったとのこと。30年来の近所に暮らしお隣さん達が毎日のおかずを差し入れてくれるのでありがたいと言っていました。

お話を伺いながら、このような近所付き合いがまだまだ滝沢村にもあることを知り心が温かくなりました。

鞍掛山 登山成功!!

第13回ハートフルピクニック

7月7日(土)、障がいを持った方とボランティアとの交流会「ハートフルピクニック」鞍掛山に登ろう」を行いました。

前日の夜半過ぎまで雨が降り開催が危ぶまれましたが、当日の朝には雨も上がり、障がいを持った方・家族の方22名、村内外から集まったボランティア91名、社協事務局10名の総勢123名が鞍掛山の頂上を目指し登山を開始しました。

励まし合い、交流を深めながら3時間ほどかけて頂上に到達することができました。

下山後の解散式で行った「友情の輪」では、参加者全員が輪になって一人ひとりと握手を交わし、お互いに感謝の気持ちをお互いに伝えました。

障がいのある人もない人も、共に力を合わせて成し遂げた「ハートフルピクニック」。今年も無事に終了することができました。ご協力本当にありがとうございました。



ボランティアが力を合わせて車いすを引っ張り、持ち上げて山頂を目指します。



登山にはアウトドア専用の車いすを使用します。



介助犬のサクラちゃんも参加!



最後まで決して諦めず、明るく元気に登り切りました。



蒸し暑い中での登山でしたが、山頂に吹く風はとっても爽やかでした。

工藤誠喜 様
 (一戸玉募金) 五、四五〇円
 川前夏まつり実行委員会 様
 (川前夏まつり募金) 一、七三四円
 匿名(一件) 八〇〇円

平成24年7月1日から平成24年8月31日まで、次の方々からご寄付いただきました。

**ご寄附
 ありがとうございます
 ございました**

各種相談所を開設しています

村民の皆様を対象とした相談所です。相談料は無料で秘密は守られます。「法律相談」と「相続・登記相談」は予約制です。ご予約はお早めに社会福祉協議会へ。
☎684-1110

開催日時	内容	会場	予約締切
9月25日(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10月2日(火)	相続登記相談	スマイルすまいる	9/28
10月9日(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10月10日(水)	知的障がい相談	スマイルすまいる	予約不要
10月13日(土)	休日くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
10月16日(火)	法律相談	スマイルすまいる	10/12
10月23日(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要
11月13日(火)	くらしの相談	老人福祉センター	予約不要

【開設時間】

- くらしの相談 (くらしの相談員) 10時～12時
- 相続登記相談 (司法書士) 10時～15時
- 法律相談 (弁護士) 10時～15時
- 休日くらしの相談 (くらしの相談員) 13時～15時
- 知的障がい相談 (知的障がい相談員) 10時～12時

課題「節電」 一本木 仙人 選
 節電を せかせるように 猛暑来る
 山瀬 鐘考 (菓子)
 節電は 早寝早起き 健康に
 青木 ミサ子 (川前)
 節電と ゴーヤー育て 食卓に
 久保 フミ (川前)

福祉柳

節電と 年金ぐらし 山崎 秋生 (川前)
 節電と 違和感無しの 老夫婦 武田 文佳 (川前)
 次回課題「実り」 応募先 〒〇二〇〇一七二 滝沢村 鶴飼字中鶴飼四七一 滝沢村社会福祉協議会
 「福祉柳」係りまで 締め切り 十月十五日
 投句数 ひとり三句まで (掲載は五句となります)
 ※作品によっては添削する場合があります。

ひとり暮らし高齢者「さわやか友の会」 「紅葉のつどい」参加者募集!

- 期 日：10月19日(金)
 - 場 所：寿広園(栗石町鶯宿)
 - 参加対象：村内にお住いの概ね65歳以上のひとり暮らしの方、日中ひとりになる方などなたでも参加できます。
 - 参加費：3,200円
 - 集 合：滝沢村老人福祉センター前を10時にバスが発券します。帰りは15時頃の予定です。
 - 申込み：10月5日(金)までに世話人、又は社会福祉協議会へ電話でお申し込み下さい。
- 《世話人》 浅 利 修 巳 688-6451
 田 中 ミツ子 684-4766
 熊 谷 留 三 687-6501
 社会福祉協議会 684-1110



親子でスマイル
 《鶴飼南》 夏月ちゃん(4歳)
 藤元輝くん(2歳5ヶ月)
 蘭子さん 親子

- Q お子さんが得意なことは?
 A 弟のお世話です。ご飯を食べさせてあげたり、着替えの準備など、ママになりきっています。
- Q どんな大人になって欲しいですか?
 A 自分の意思を持ち、周りの人が笑顔になるような明るく優しい人になってほしいです。
- Q 子育ての楽しいところはどこですか?
 A 日々の成長です。弟は何でも姉の真似をして、まだまだ失敗も多いのですが、一生懸命な姿が微笑ましく感じます。
- Q 子育てで心がけていることは何ですか?
 A 子供の視線に合わせて話をしたり聞いてあげることです。
- Q ご意見・ご要望等お願いします
 A 以前、クリスマス会に参加して親子で楽しむことができました。これからも季節行事やクッキング講座などの企画があれば参加したいです。